

## 第6学年1組 社会科学習指導案

### 1 単元名 地域の願いを実現する政治 ～ 自分たちの故郷について考えよう ～

#### 2 単元目標

- ・梨の里小学区の移り変わりやこれからのことについて、進んで調べたり、考えたりすることができる。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・これからの地域にどんな願いをもっているのか、様々な立場の意見を聞く中で、自分の考えを構築し、発表することができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- ・地図の読み取りをしたり、様々な立場の考えを聞いたりしたことを、まとめることができる。  
(観察・資料活用の技能)
- ・地方公共団体が地域にどのように働きかけ、市民が地域社会にどのように参画しているのかがわかる。  
(社会的事象についての知識・理解)

#### 3 単元について

##### (1) 児童の実態

本学級の児童は、最高学年となった自覚と誇りを感じ、係活動や委員会活動、清掃活動など何事にも前向きに取り組もうとする様子が多く見られる。年度当初の目標には、「下級生のお手本となりたい」と多くの児童が挙げていたことからその様子が見え始める。授業についても、「話をしている人の目を見て真剣に聞く」「1日4回は発言する」など、具体的な目標を挙げ、積極的に参加しようとする意欲を感じる。また、5月に「授業に集中して取り組んでいるか」とアンケートを行った際、38人中35人が取り組んでいると答えたことから学習意欲の高まりを感じている。しかし、授業の発言が、一問一答のような正誤問題については多くの挙手があったのに対し、自らの思いや考えを答える思考問題については、挙手をしづる様子があった。また、発言の内容は、根拠をもたず、思いつきのままに発言することが多く、友達の意見と関連させて深めながら考える姿があまり見られなかった。

社会科の授業に対しても、資料を見たり、そこから発見したりすることは、意欲的に取り組む姿が見られる。また、「縄文時代と弥生時代の暮らしを比較しよう」という課題に対し、多くの違いを見つけて発言することができた。しかし、資料から読み取れることから、考えを深めたり、他者が気付いたことを共感的に受け止めたりするまでには至らなかった。それは、資料を深く読み込んで考えを構築したり、他者からの意見を受け入れ、自分の意見と関連させたりすることで、考えが深まったり、新たな考えを構築したりする意義を感じていないと考えられる。

このような児童の実態から、児童にとって身近な「ひと・もの・こと」を題材にして、調べ学習や体験的な学習に取り組ませながら、自分の考えに根拠をもたせたい。そして、他者からの意見を肯定的に受け入れ、自分の意見と関連させることで、考えが深まる喜びを味わってほしいと願い、本単元を設定した。

##### (2) 単元観

梨の里小学区は、ここ数十年の間で飛躍的に開発が進んだ地域である。1988年に三河安城駅が開業したことに伴い、田園風景が広がっていた地域から、高層マンションや商業施設が立ち並ぶ都市化へと進んできた。地価が上昇する中でも人口流入が続き、二本木小学校と作野小学校のマンモス化の解消のために、梨の里小学校が平成18年に開校し、昨年度10周年を迎えた。6年児童にとっては、生まれた時から学区に高層マンションが立ち並び、開発が進んできた経緯を知らないことが多い。

そこで、本単元「つかむ」段階では、学区がどのように移り変わってきたかを地図で調べたり、親や

地元の方から話を聞いたりする活動を取り入れる。子どもたちは、約30年前と現在の学区の地図を比較することで、いろいろな違いを発見することができるだろう。また、その当時から住んできた人の話を聞くことで、当時の様子に思いを馳せることができるであろう。

過去の変化に着目した意見が多く聞かれる中、これからの変化に着目した意見が児童から出てきた際、それを拾い上げ、未来の故郷に考えをシフトさせていく。そして、「調べる」段階では、まず児童が大人となった時の故郷を児童たちで考える。ここでは、自由に意見を出させて、故郷を形つくっていく。そして、できあがった未来の故郷について意見を聞いてもらうために、市役所の方を招く。その中で、地域の開発には地方公共団体の働きがあり、実際に市役所や市議会がどう関わってきたのか、これからの梨の里小学区をどう捉え、関わろうとしているのかを聞く。また、様々な立場の人の意見を集約しながら、地域の開発に取り組んでいることを伝えてもらう。子どもたちは、話を聞く中で、学区が変化してきたのは多くの人の思いや願いが込められ、様々な関わりがあったことを知ることになるだろう。そして、これからも地域が変わっていく可能性があることを知り、自分たちの故郷の未来についていろいろな立場から考えることができるだろう。

そのきっかけをもとに、「深める」段階では、これからの故郷がどうなってほしいのかを考える。根拠をもとに自分の考えを構築するために、4年生の総合学習で学んだ地域の自然環境やごみ問題を再度考え直したり、三河安城駅で街頭アンケートを実施したり、地域住民の願いを聞く場を設けたりすることで、様々な立場で考えられるようにする。そして、それらの考えを根拠として、学級で学び合う場を設定する。ハンドサインやネームプレートを活用し、他者の意見を聴き、自分の考えと関連しやすくしながら、どの願いを優先したらよいか、様々な意見を交流する。結論を矢継ぎ早に求めるのではなく、自分たちの調べ学習をふり返らせたり、考えの甘さを痛感させたりしながら、学級全体の意見としてまとめをしていきたい。学び合いを終えた時には、子どもたちが自分たちの考えを再認識し、様々な立場に目を向けた多面的・多角的な考えを構築していきたい。

「広げる」段階では、社会に参画するという観点から、これまで学んできたことをもとに、自分たちの意見をまとめ、市役所に意見書を提出する。それは、子どもたちが大人になった時、政治に参加する意義を感じさせるものとなり、選挙活動やパブリックコメント等、地域の課題に対して、自ら関わろうとする大人になっていくことを期待する。

### (3) 単元構想 (13時間完了)

段階	学 習 活 動
つ か む	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>梨の里小学区の自慢できるところは何だろう</b> ①         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅が近くで、すぐに遠くへ行ける。</li> <li>・ いろんなお店があったり、近くに公園があったりして、便利なところ。</li> <li>・ 昔はほとんど田んぼだったみたいだけど、今は町もきれいで住みやすい。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>昔の梨の里小学区の様子を調べよう</b> ②③④         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>昔の地図と比べよう</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>家の人に聞いてみよう</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>町内会で聞いてみよう</b> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園もほとんどないね。</li> <li>・ 道も今みたいに整理されていないね。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お店はほとんどなかったよ。</li> <li>・ 学校は遠くて、登下校するのも大変だった。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二本木新町や三河安城町は、最近できた町なんだ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>梨の里小学区は、約30年で大きく変わったね。お店ができたり、駅ができたりして人が増え、便利になった。これからどうなっていくのだろう。自分たちで考えてみよう。</p> </div> </div>

調べる	<p><b>みんなの願いで未来の故郷をつくろう</b> ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも人が増えて、たくさんのお店ができるといいな。</li> <li>・遊ぶ場所も増えてほしいから、公園や大型の商業施設ができるといい。</li> <li>・少しは自然が残っているほうがいい。</li> <li>・くねくねした道を真っ直ぐにして、わかりやすくしたらいい。</li> </ul>	<p><b>学区の開発について市役所の方に聞こう</b> ⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1970年代から計画が始まっていたね。</li> <li>・計画ができてから、市役所や市議会で多くの話し合いがあったことがわかった。</li> <li>・すぐに町ができたわけではなくて、市民からも意見を求めて決まったんだね。いろんな立場の人から意見を聞かなければいけないんだね。</li> </ul>								
深める	<p><b>これからの梨の里小学区にどんな願いをもっているか聞こう</b> ⑦⑧</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;"><b>保護者</b></td> <td style="width: 25%;"><b>町内会</b></td> <td style="width: 25%;"><b>商店</b></td> <td style="width: 25%;"><b>街頭</b></td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと高齢者が安心して暮らせるように、防災防犯に力を入れてほしい。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が集まるように、道路を整備して地域の開発を進めてほしい。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に住みやすい環境をつくって、活気ある町づくりを目指してほしい。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店が増えてもっと遊べる場所がほしい。</li> <li>・自然を残すことも大切。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"><b>みんなの願いをまとめよう</b> ⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの願いを項目立てて、分けていこう。</li> <li>・立場が違う人でも、同じことを願っているね。</li> <li>・どれかを選ぶと、他のことができなくなる可能性があるね。</li> <li>・項目の中でも、賛成と反対の意見がありそうだよ。</li> <li>・自分たちの故郷のためには、どの願いを優先したらいいのだろう。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>未来の故郷のためにどの願いを優先したらいいだろう</b> ⑩（本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の人が言うように、たくさんの人が住めるようにして、もっと地域が発展して多くのお店ができて、にぎやかな町にしていくことを優先すべき。</li> <li>・家では、田んぼある風景を残したいって言っていた。私も4年生の頃に勉強したように、生き物が住める環境を残すことが大切だと思う。</li> <li>・税金を簡単に使うことはできないし、全部の願いを叶えられない。</li> <li>・自分たちだけでは決められないから、もう一度地域の人やお家の人にアンケートをとって、一緒に考えてもらったらどうだろう。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>いろいろな立場の人にアンケートをとって、意見をまとめよう</b> ⑪</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立場によって、優先に考えることが違うみたい。どうしたらいいだろう。</li> <li>・どの願いも大切だから、優先することは難しい。でも、自分たちが特に大切だと思うことにしぼっていかないとすべての願いは伝えられない。</li> </ul>		<b>保護者</b>	<b>町内会</b>	<b>商店</b>	<b>街頭</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと高齢者が安心して暮らせるように、防災防犯に力を入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が集まるように、道路を整備して地域の開発を進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に住みやすい環境をつくって、活気ある町づくりを目指してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店が増えてもっと遊べる場所がほしい。</li> <li>・自然を残すことも大切。</li> </ul>
<b>保護者</b>	<b>町内会</b>	<b>商店</b>	<b>街頭</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと高齢者が安心して暮らせるように、防災防犯に力を入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が集まるように、道路を整備して地域の開発を進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人に住みやすい環境をつくって、活気ある町づくりを目指してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店が増えてもっと遊べる場所がほしい。</li> <li>・自然を残すことも大切。</li> </ul>							
広げる	<p style="text-align: center;"><b>6年1組の意見をまとめて、市に意見書を出そう</b> ⑫⑬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな願いがあることを伝えながら、3つぐらいにしぼって意見書を出そう。</li> <li>・人が住む場所とお店がある場所、自然を残す場所を分けて考えたらうまくいきそうだね。駅周辺は、お店が出せる場所だから、これからも発展させていくのはどうだろう。</li> </ul>									

#### 4 本時の指導

##### (1) 本時の目標

未来の故郷のためにどの願いを優先したらいいのかを考える中で、友達の見解を受け入れたり、関連させたりしながら、故郷の未来について考えることができる。（社会的な思考・判断・表現）

##### (2) 指導過程

時間	学習活動	教師の支援・学び合いの手立て
0	<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">未来の故郷のためにどの願いを優先したらいいだろう</p>	

3	<p><b>2 梨の里小学区の移り変わりやいろいろな人の願いについて確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が住むようになり、道路や公園が整備されて、田園地帯から町へと変化してきた。</li> <li>・いろいろな人の願いがあることを知った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示されている学びの足跡を活用し、本時のめあてに向けた土台とする。</li> </ul>
8	<p><b>3 話し合いを行う。</b></p> <p><b>【商業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の人が言うように、多くのお店ができてもっと地域が発展させていくことで、いろいろな設備が整ってくるから、お店を作って人を呼びこむべき。</li> </ul> <p><b>【自然】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は4年生の頃に勉強したように、生き物がすめる環境を残すことが大切だと思うし、そう願っている人もいる。</li> </ul> <p><b>【防災防犯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人が増えることで犯罪が多くなる可能性がある。だから、ただお店を増やすことがいいとは思わないし、防犯を高めることから始めるべき。</li> </ul> <p><b>【交通】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電車がたくさん停まるためには、交通整備が必要で、それをしないと人も集まらない。</li> </ul> <p><b>【福祉】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢社会だから、これから福祉に力を入れるべきだと思うし、市もそれを推している。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金の使い道として考えると、自分の考えではだめだと思う。優先順位を決めるのは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学びを根拠にして、自分の考えを発言するように声かけする。</li> <li>・故郷への願いが多面的・多角的であることを考えられるように、項目の中でも考え方の違いや対立が生まれそうな意見が出るよう、事前に児童の考えを座席表におとし、意図的に指名する。</li> <li>・「自然保護と開発推進」や「費用と公正」など、対立軸がわかりやすくなるようにチョークを色分けしながら板書する。</li> <li>・住民税に関する資料を提示することで、税金の使い道としてどうなのか、考える視点を与える。</li> <li>・話し合いが進む中で、一つの話題に焦点化したり、対立したりした場合には、掲示されている学びの足跡やノートを参考にし、近くの子と相談する時間を設ける。</li> <li>・クラスで意見がまとまった場合、市へ提案するために、キャッチフレーズを考える時間を設けて、次時につなげられるようにする。</li> <li>・優先順位を決めることができないという考えの児童を意図的に指名することで、新たな課題へとつなげられるようにする。</li> </ul>
38	<p><b>4 ふり返りをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立場によって考え方が違って、どれを優先したらいいか決めることは難しい。もう一度それぞれの立場の人に、いろんな意見が出ていることを伝えて、これからのことを一緒に考えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうしたら決められるのだろう」と新たに課題を投げかけることで、自分たちの話し合いで足りなかったことに目を向けられるようにする。</li> <li>・話し合いを通じて、自分の考えがどうなったのか、考えの変化に注目してふり返りをするように指示する。</li> </ul>

### (3) 評価

未来の故郷のためにどの願いを優先したらいいのかを話し合う活動を通して、友達の意見を受け入れたり、関連させたりしながら、故郷の未来について考えることができたか、発言の様子やふり返りから判断する。  
(社会的な思考・判断・表現)